

じらかい



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には夢あふれる輝かしい平成28年の新春をさわやかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は、西条市連合自治会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、皆様方の温かなご協力をもちまして、平成17年4月に誕生した連合自治会も無事に

十周年の節目を迎えることができました。

設立以来、連合自治会では、行政や関係機関と連携を図りながら、自治会相互の連絡調整とコミュニティ活動を推進し、「明るく住みよいふるさとづくり」に努めてまいりました。

近年、住民の意識が多様化し、地域の結束力も弱まってきている中、地域の様々な課題は、住民が協力し合わないで解決が難しいものばかりで、地域を住みよいまちにするためには、私たちの自治会活動が、今後ともいっそう重要な役割を果たすことになると思われまます。

これからも私たち役員一同、皆様方と手を繋ぎ合い、共に高め合える自治会活動となるよう取り組んでまいりますので、引き続き格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

西条市連合自治会 役員一同



★各地域の自治会活動をご紹介します★

市民の森へハイキング!!

(飯岡校区連合自治会)

平成27年10月25日(日)に絶好の日和に恵まれ、連合自治会ハイキングが盛大に行われました。公民館から市民の森までの約10kmを子供達と共に心地よい汗を流しました。

普段、何か適度な運動をしなければと思いつつも実践できておりませんが、多くの皆さんと親しく会話を楽しみながら歩くことで苦も無く、楽しく歩くことが出来ました。健康で歩ける幸せを感じながら、大変気持ちの良い一日を過ごすことが出来ました。



亥の子まつり (池田自治会)

池田自治会では、三世代が交流できる行事として「亥の子さん」を行っています。亥の子さんは、子どもたちの行事として旧暦10月の亥の日に行われる行事で、秋の収穫を祝い、神に感謝する祭りです。

子どもたちは、棒たい(わらを縄で巻いたもの)とごうりんさん(円形の石でつくられたもの)を用いて、門口で輪になって数え唄を歌いながら、自治会内の各戸(210戸)をまわり、各家ではお小遣いやお菓子などを用意し、お礼として渡します。

地域のともしび会、婦人会、PTAが作る食事を食べながら、亥の子まつりのことや日頃のことを話し合っ、三世代の交流の輪が広がっていきます。親から子へ、子から孫へと昔から絶え間なく各世代に受け継がれた伝統行事を今後も亥の月にいつもどおり継続していきます。



平成27年度大町校区敬老会 (大町校区連合自治会)

平成27年9月12日(土)と9月13日(日)の2日間、大町公民館で長寿と健康を祝い、敬老会を開催しました。今年度は、大町小学校体育館が耐震改修工事のため使用できず、また、参加者が約400名と大人数であるため2日に分けての開催となりました。

大町婦人会長と市長の挨拶があり、健康長寿の祝品をお贈りした後、演芸に移り、大町小学校1年生有志による踊りや民謡、婦人会役員による踊りのほか、みんなで民謡や童謡を歌ったりして楽しんでいただきました。

2日に分けての開催となったため、苦労もありましたが、大町校区の地域住民・諸団体との連携があればこそ実施できた敬老会です。今後も高齢者の方々が住み慣れた家庭や地域の中で安心して暮らしていただけるよう、

また、皆さんに「住んで良かった」と実感していただける、幸せなまちづくりを進めてまいります。



アジサイロード・花鮮やか (北条新田自治会)

臨港道路北条線の歩道の植樹帯に毎年約150種類の3500株のアジサイが咲いています。北条新田自治会が年間を通して丹精込めて、施肥や除草、花柄の摘み取り、散水などのお世話をしています。おかげで大型の綺麗なアジサイが咲き乱れ、道行く人を楽しませています。

毎年6月中旬が見頃で、臨時駐車場に車を置いて、市内外から多くの方がアジサイの鑑賞に訪れ、自治会員も毎年手入れに励んでいます。



地域で学ぶ自助・共助 (小松支部)

災害発生時の対応能力の向上と地域の防災体制の強化を図ることを目的に、冬の気配が感じられる平成27年11月29日(日)に石根小学校で南海トラフ巨大地震を想定した西条市総合防災訓練を実施しました。

第1部の避難訓練では、午前7時57分、震度7の南海トラフ巨大地震が発生したとの想定で小松、石根地区の住民約3,400人は、自治会が指定した集会所などへ徒歩や自転車で避難しました。

第2部の実動訓練では、会場となる石根小学校で、自治会員、小学生ら約630人が救出搬送、応急救護、初期消火などの実践的な訓練を体験しました。

今回の訓練を通じて、市民一人ひとりによる「自助」、自治会や自主防災組織などの連携による「共助」の大切さを学ぶとともに、「共助」の基盤となる地域コミュニティの重要性を再認識することができました。

今後、小松支部では、「死ぬな、逃げろ、助けろ」を合言葉に、防災・減災対策に取り組んでいきます。



第43回壮年ソフトボール大会 (西条支部)

平成27年11月15日(日)に西条市民公園運動広場で西条市連合自治会西条支部壮年ソフトボール大会が開催されました。前日の悪天候の影響から中止も検討されましたが、各校区の精鋭が熱戦を繰り広げ、神戸校区が優勝旗を手に入れました。



綾延神社の秋祭りと田野市 (田野地区自治会)

周桑平野の西部を占める旧田野郷六千石の総鎮守として丹原町田野上方に綾延神社が鎮座します。500年来のトウヤ制度に基づく西条市内で最も古い祭形式を伝え、江戸時代から続く殿中奴や獅子舞などの行列が神輿の渡御に加わり、典型的な農村の祭りを形作っています。かつてお旅所の広場には農具などを扱う「市(いち)」が立ち、多くの人々が群参して「田野市(たのいち)」と呼ばれました。俗に「田野市見たか」と自慢され、「さもなくばあの世に行っても話にならない」とされるほどの賑わいでした。今年(西暦2016年)、綾延神社は1300年の式年祭を迎えます。これからも地域の拠り所として綾延の祭りの伝承に努めていきます。



本谷温泉まつり (庄内地区連合自治会)

平成27年3月29日(日)本谷温泉公園で、第12回本谷温泉まつりが開催されました。(本谷温泉まつり実行委員会主催)郷土の夏祭りとして始まったこのイベントですが、ここ近年は、桜の開花時期にあわせての開催となり定着してきました。

今年も東予学園の生徒らによるバンド演奏、有志によるカラオケやダンス、日本舞踊で盛り上げてくれました。特に午後からは、徳島県三好市の吉野連が阿波踊りを披露し、会場からも飛び込み参加で踊ると、観客の笑顔誘っていました。

いつもは静かな山間も、この日は特に大勢の人が集まり、花見や芸能鑑賞と味覚と入浴を一度に味わえます。



高齢者健康づくりと芋炊き会 (岡村自治会)

高齢者健康づくりは、毎月一回・40名余りが集会所で自分達が好きな曲を歌い、時には、「銭太鼓」・「大正琴」・「音楽愛好者」・「合唱団」など色々なグループを招き、活動の成果を鑑賞し、楽しんでいます。いつまでも、心はホカホカです。

芋炊き会は、10月18日夜、秋祭り(16～17日)炊き出しのお礼と自治会員の親睦を兼ねており、100名程が集会所前庭で夜空を見上げながら、お酒を酌み交わして遅くまで親睦を深めています。この地域は、皆が助け合う暖かさが満ち溢れています。



大保木ふれあい盆踊り大会 (大保木地区連合自治会)

過疎高齢化が進む山間部にあって長い歴史と伝統を誇る行事「ふれあい盆踊り」が平成27年8月24日(月)に石鎚ふれあいの里で盛大に開催されました。

今では珍しい唄と太鼓だけの素朴なスタイルの太鼓踊りは、1664年乏しい米の代わりに銀で年貢を収めることを西条藩に直訴し処刑された農民らの供養として始まりました。生の歌声に合わせ太鼓をたたき、ひらりひらりと左右に扇子を動かす優雅な踊りです。

また、太鼓踊りの継承とともに地域住民、出身者との触れ合いの場ともなっています。出身者にとって踊りの輪の中で久しぶりに会う友とふるさとの風を感じながら過ごすことは楽しいことです。大保木地区連合自治会としても、この盆踊りを絶やすことなく続けていきたいと考えています。



大明神川右岸環境美化活動 (正法寺・高田自治会)

正法寺・高田自治会では、春の一斉大掃除に合わせ地域内を流れる大明神川の河川清掃・美化活動に取り組んでいます。当日はそれぞれの地区で子供から高齢の方までの多くの参加があり河川が見違えるほど美しくなりました。この環境美化活動により地域の連帯感が生まれ地域の絆が一層高まったことを確信いたしました。



★西条市連合自治会の取り組み★

西条市連合自治会設立十周年記念式典

平成27年5月23日(土)西条市連合自治会設立十周年記念式典を開催しました。式典では、連合自治会会長や副会長として熱心に活動に取り組んでいただいた4名の方に特別表彰が行われました。

また、記念講演として、「住民に必要とされる自立した地域づくり」と題し、東京都立川市の大山団地で自治会加入率100%、孤独死ゼロを実現し、日本一の自治会と称される大山自治会を取りまとめた佐藤良子氏をお招きし、ご講演をいただきました。

佐藤氏のこれまでの取り組みについてのお話があり、講演を聞かれた自治会関係者にとって、きっと今後の活動のヒントを得ることができる講演会になったと思います。

その中でも印象深かったのは、自治会活動及び自治会役員にとって必要な五気力のお話でした。自治会活動

には、『元気』『陽気』『根気』『強気』『やる気』が必要であるとのこと。自治会活動を行っている人が元気でなければ、他の人を元気にすることはできません。思うとおりにいかなくても暗い顔をして、うつむいている人には、誰もついてきてはくれない、何事もあきらめずにやり通す。人の心を最後に動かすのは、何としても実現したいという熱意だということをお話いただき、自治会活動の大切な心構えを学ぶことができました。



新自治会長研修

昨年度から実施している「新自治会長研修」を市内の東部(西条市役所)と西部(東予総合福祉センター)の2箇所で開催しました。



自治会に関する補助制度や防災活動についてなど、新たに自治会長になった方にとって、必要な知識を学ぶことができる内容としておりますので、新たに自治会長に就任した方は、ぜひ受講してください。

(東部)

開催日：平成27年7月23日(木) 19:30～

場所：西条市役所 庁舎本館5階 大会議室

(西部)

開催日：平成27年7月28日(火) 19:30～

場所：東予総合福祉センター 2階 会議室

『研修テーマ』

- (1) 自治会について
- (2) 自治会の法人化(認可地縁団体)について
- (3) 自治会に関する補助制度について
 - ① 集会所に関する補助制度について
 - ② 防犯灯に関する補助制度について
 - ③ ごみに関する補助制度について
- (4) 防災について

西条市連合自治会視察研修

期日 平成27年11月17日(火)～11月18日(水)

視察先 月見山連合自治会(神戸市須磨区)

先進地視察研修として月見山連合自治会を訪問し、意見交換会を実施しました。月見山連合自治会は、6つの地区で構成される大規模な単位自治会であり、専従事務職員体制を採用し、自治会として認知症予防講座の開講や防犯カメラを設置するなど、熱心な取り組みを行っている自治会です。

意見交換会では、月見山連合自治会の取り組みや平成7年の阪神・淡路大震災の経験について活発な意見交換を行うことができました。

月見山連合自治会では、震災当時、火災を予防するために役員が街中の家のブレーカーを落としてまわったとのことでした。電気が復旧した時、切れたと思っていた電気製品が再び作動することで、「通電火災」が発生します。『避難する際には、ブレーカーを落としてから避難する。』これだけのことで火災の発生は、かなり軽減できるとのアドバイスをいただきました。やはり、実際に大規模災害を経験した方のお話を聞くと学ぶべきことも多く、実りのある視察研修となりました。



☆自治会に加入しましょう☆

～「いざ」というとき、あなたのご近所に助け合える人はいますか?～

大災害が発生したときには、交通網の寸断、同時多発火災などにより、消防や警察などの機関が十分に対応できない可能性があります。そんな時に力を発揮するのが地域における「共助」です。また、災害発生後の避難生活が長引く場合にも、地域住民が助け合い、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。「いざ」というときのためにも自治会に加入して一緒に活動しませんか?



編集後記

会報「じちかい」第10号をお届けします。

広く住民の皆さまにお読みいただき、自治会活動について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、この機会に、自治会未加入の皆様も、安全で明るいまちづくりのために、自治会へご加入いただきますようお願いいたします。

<編集>西条市連合自治会 理事一同

西条市連合自治会事務局(西条市役所市民生活課内)
TEL 0897-56-5151(内線2461)